

2025年3月期 第3四半期決算補足資料

株式会社IMAGICA GROUP
証券コード：6879

2025年2月4日

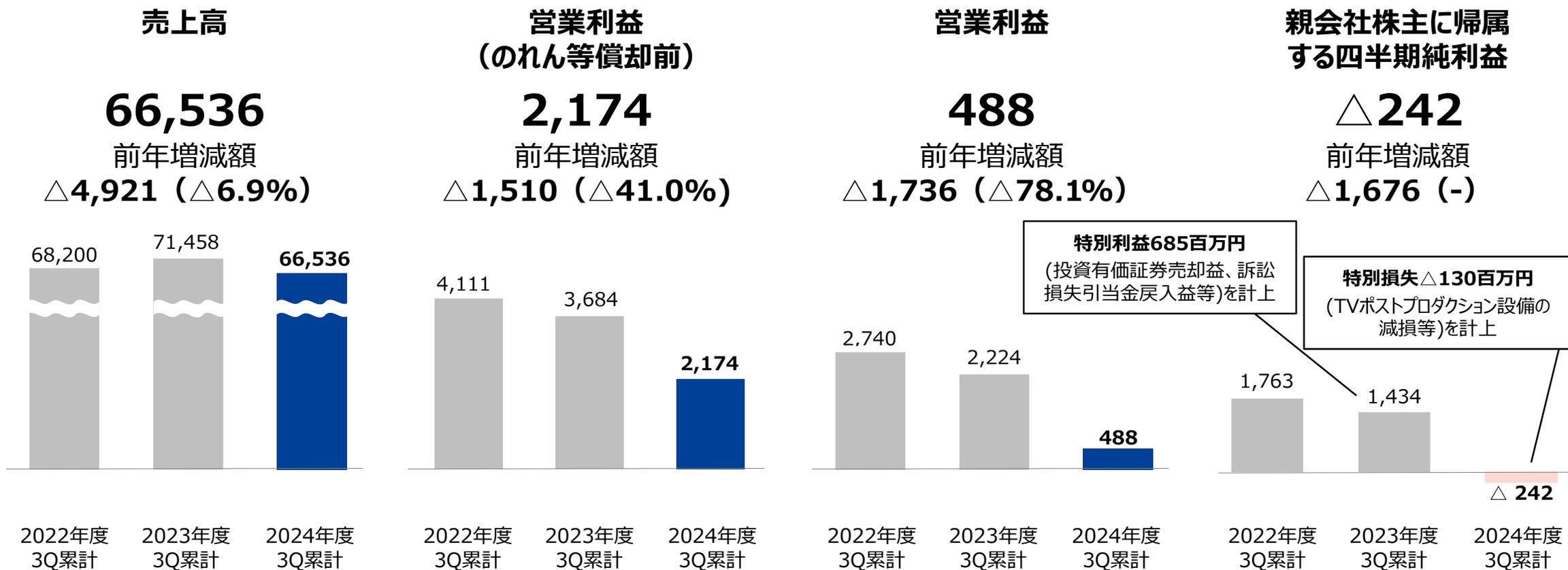


2025年3月期=2024年度

決算ハイライト

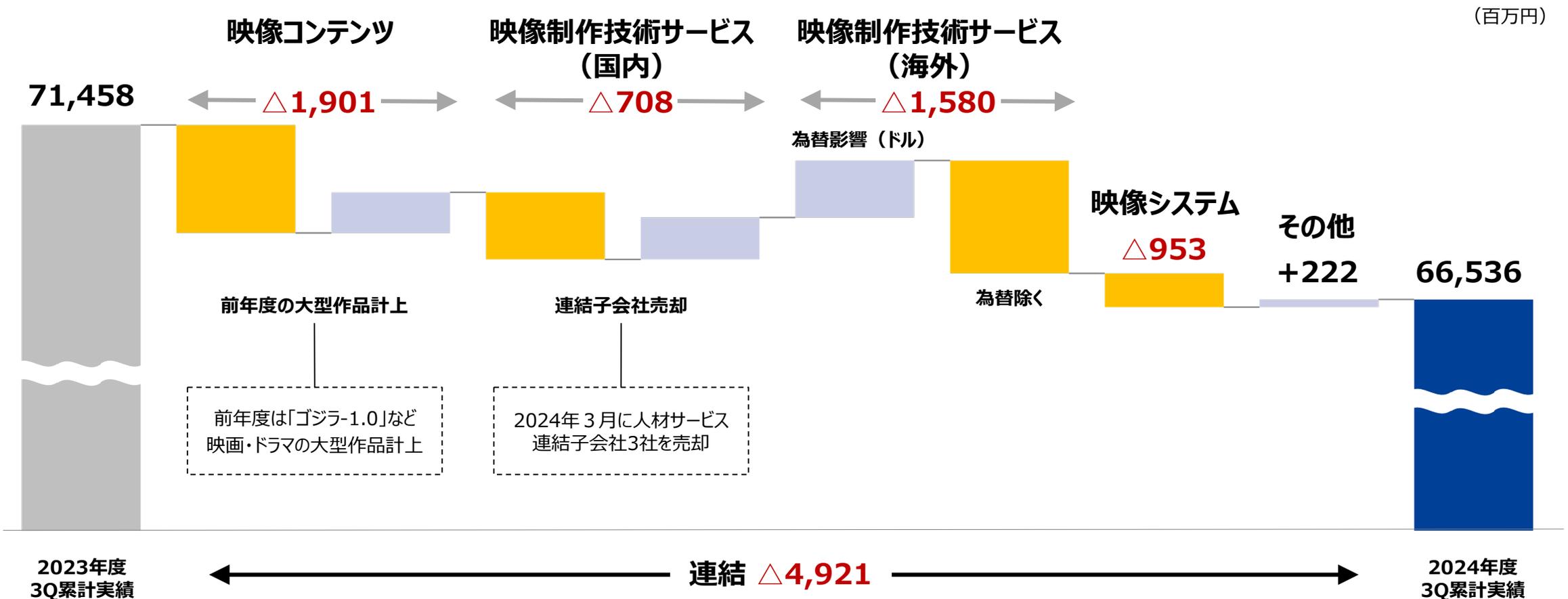
- 国内事業は好調、海外事業は苦戦で人員整理によるコスト削減を行ったが、連結では減収減益
- 海外事業の営業赤字の影響が大きく、連結で純損失を計上

(百万円)



売上高 前年増減分析

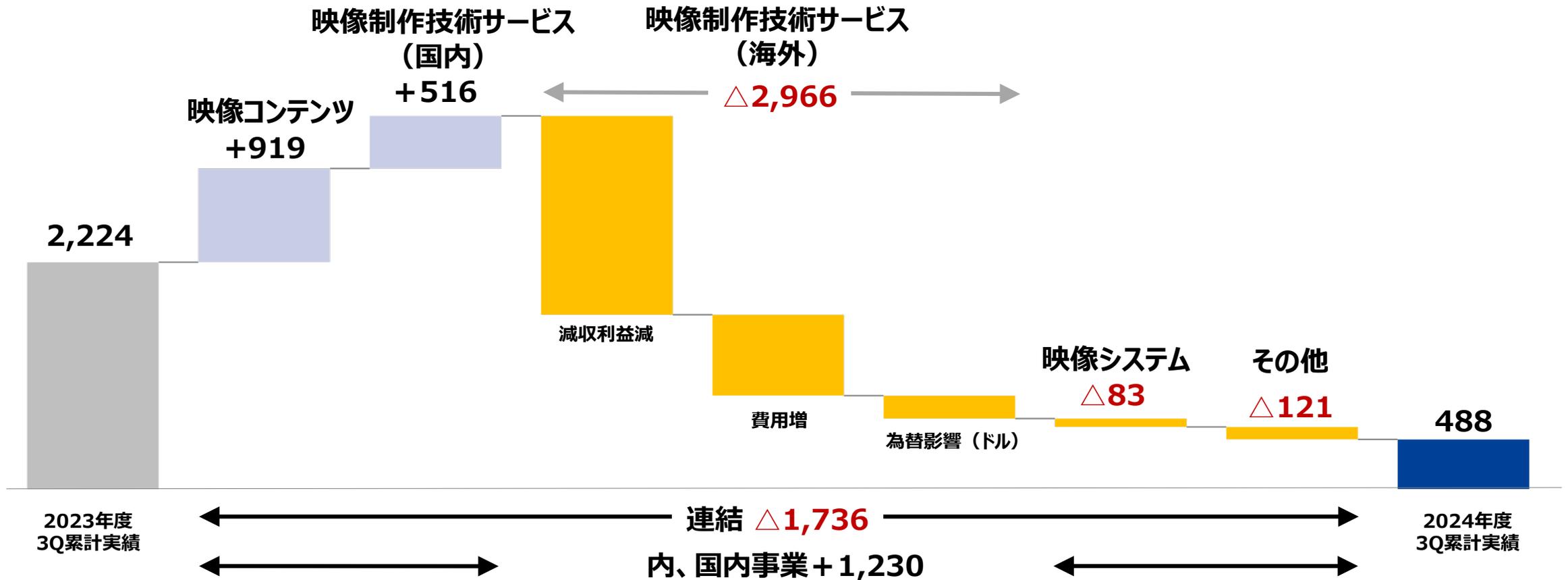
- 国内事業は連結子会社売却や前年度の大型作品計上の反動を除けば増収も、海外事業は為替込みで減収



営業利益 前年増減分析

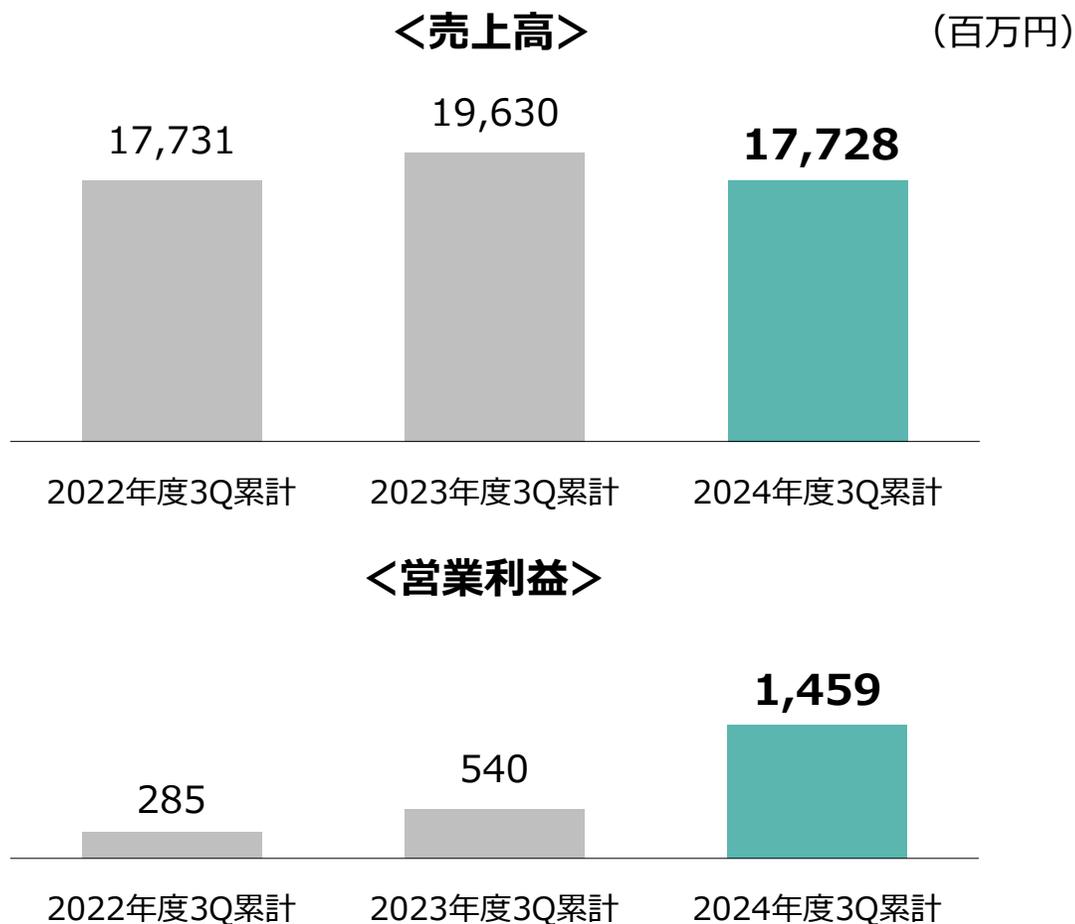
- 国内事業は主に映像コンテンツの好調に支えられ増益
- 海外事業は減収による利益減に加え、費用増・為替影響で大幅減益

(百万円)



映像コンテンツ事業

- ・ 劇場映画・ドラマの大型作品減で減収も、制作映画の成功報酬の計上、出版、CM制作好調で大幅増益



減収増益

売上高 (減収)	△1,901 (△9.7%)
営業利益 (増益)	+919 (+170.2%)

劇場映画・ドラマ作品

- ・ 前年度の大型作品計上の反動も、制作映画の成功報酬の計上等があり増益

アニメーション制作

- ・ CGアニメーション作品等が寄与し増益

出版

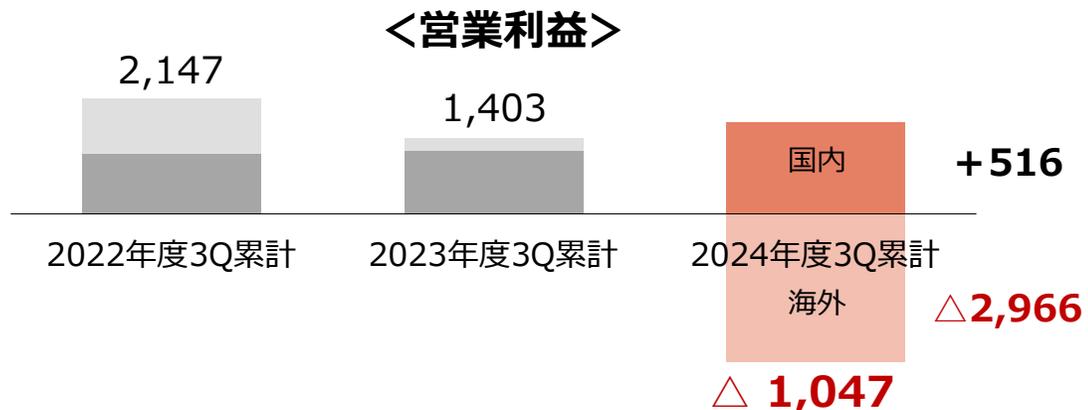
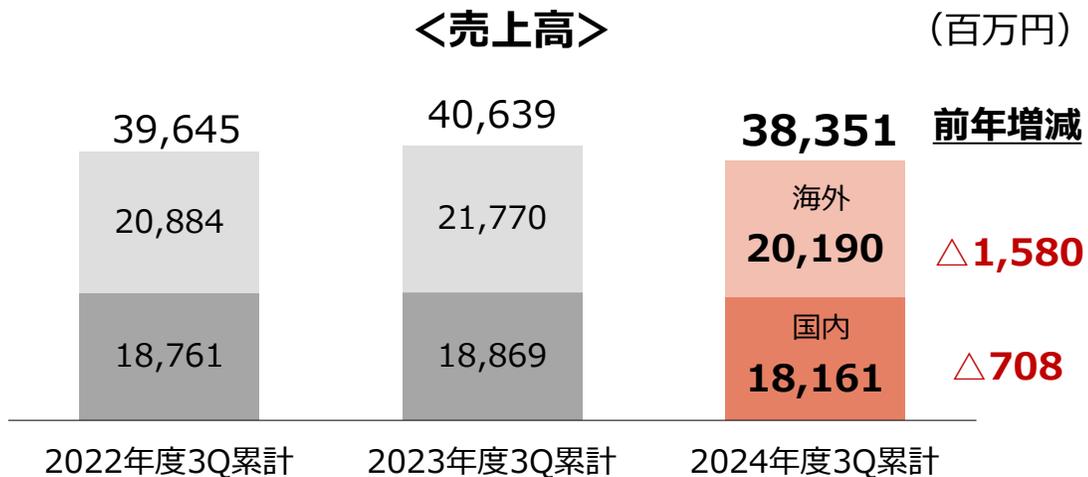
- ・ 「薬屋のひとりごと」のTVアニメ制作委員会からの配分金収入等の計上で増収増益

CM制作

- ・ TV向け、インターネット向けの受注が好調に推移

映像制作技術サービス事業

- 国内事業はゲーム関連事業等が好調も、海外事業は需要が大きく落ち込み人員整理関連の費用等増で減収減益



減収減益

売上高 (減収)	△2,288 (△5.6%)
営業利益 (減益)	△2,450 (-)

国内

E2Eサービス (国内)

- 映画向け編集サービス、デジタルシネマ向けサービス等好調

ゲーム関連事業

- 制作体制の拡充で3DCG制作の受注が増加し増収

ポストプロダクション事業

- CMは受注堅調も、TVは引き続き受注低調に推移
- TVポストプロダクション事業からの撤退を決定 ※詳細次頁

海外

E2Eサービス (海外)

- ローカライズの受注が前年度から大きく落ち込み減収となり、2024年6月と10月に人員整理によるコスト削減実施
- 減収による利益減に加えて、人員整理関連の費用等が増加し、大幅減益

TVポストプロダクション事業からの撤退

詳細は、2024年12月26日付の「連結子会社の一部事業撤退および希望退職者募集、特別損失の計上見込に関するお知らせ」を参照ください

連結子会社IMAGICA Lab.が行うTVポストプロダクション事業からの撤退を決定

事業環境が大きく変化し、業績の低迷続く

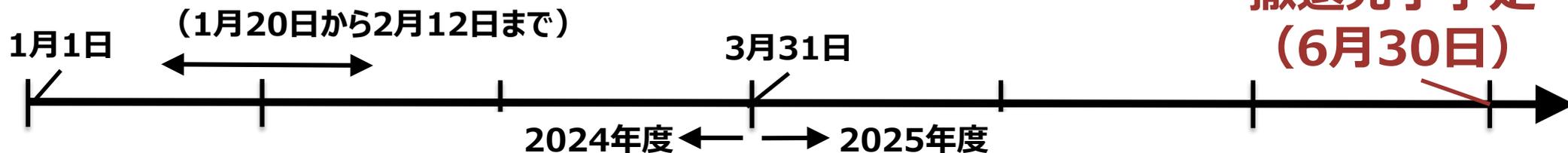
- TV市場・TVポストプロダクション市場の縮小、それに伴う競争激化
- 編集機材の低価格化による参入障壁の低下、フリーランス化の進行

事業の継続を検討するも早期回復は困難と結論

・事業からの撤退 ・希望退職者募集の実施 を決定

(当社グループ会社等への転籍、第三者への事業譲渡も検討中)

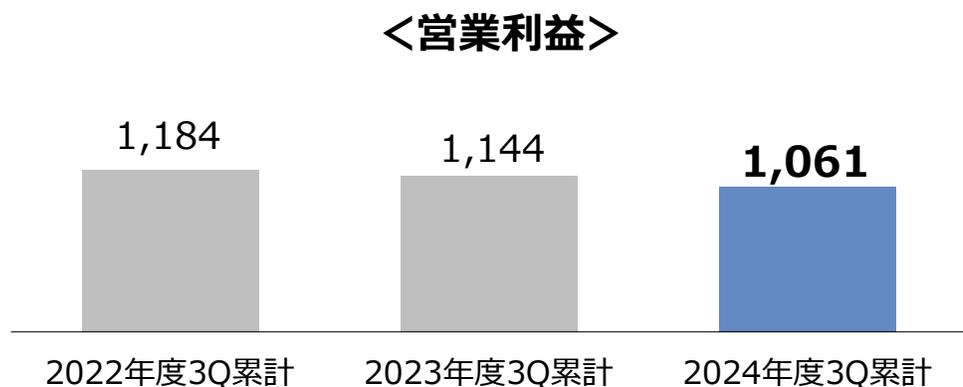
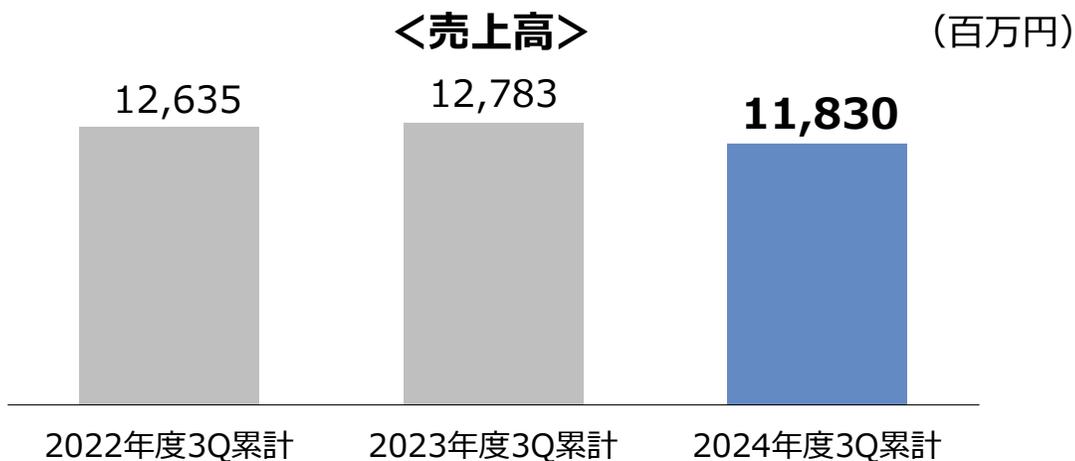
希望退職者募集（100-150名程度）



2024年度あるいは2025年度に撤退に関わる特別損失の計上見込む影響額は確定次第速やかに公表

映像システム事業

- ・ハイスピードカメラは欧州向けは好調で米国向けも前年度並も、中国向けは減速し、放送映像システム、光学計測の需要も弱く、減収減益



減収減益

売上高 (減収)	△953 (△7.5%)
営業利益 (減益)	△83 (△7.3%)

ハイスピードカメラ

- ・ 欧州向けは好調、米国向けも前年度並で推移したが、中国向けは減速し、減収

放送映像システム

- ・ 前年度より案件が少なく減収

光学計測

- ・ 海外での計測装置の受注が低調で減収

2024年度 通期業績予想

- 10月31日修正の業績予想に対し、概ね計画どおりの進捗
- TVポストプロダクション事業からの撤退に関わる特別損失は確定次第反映

(百万円)	2023年度	2024年度		前年増減	
	通期実績	5月9日 業績予想	10月31日 業績予想	増減額	増減率
売上高	99,684	98,000	96,000	△ 3,684	△ 3.7%
営業利益 (のれん等償却前)	5,901	5,800	3,400	△ 2,501	△ 42.4%
(利益率)	5.9%	5.9%	3.5%		
営業利益	3,924	3,700	1,200	△ 2,724	△ 69.4%
(利益率)	3.9%	3.8%	1.3%		
経常利益	3,727	3,200	800	△ 2,927	△ 78.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,373	2,000	△ 900	△ 3,273	-
1株当たり当期純利益 (円)	53.57	45.25	△ 20.36	△ 73.93	-
1株当たり配当金 (円)	15.0	15.0	15.0	0.0	

2024年度 セグメント別業績予想

- 海外事業の悪化、映像コンテンツの前年度の大型作品計上の反動等により、前年度より減収減益の見込み

(百万円)		2023年度	2024年度	前年増減額
		実績	10月31日 業績予想	
映像コンテンツ	売上高	28,186	25,300	△ 2,886
	営業利益	1,276	1,660	384
映像制作 技術サービス	売上高	53,967	52,100	△ 1,867
	営業利益	1,430	△ 1,500	△ 2,930
映像システム	売上高	19,756	20,300	544
	営業利益	2,404	2,270	△ 134
連結	売上高	99,684	96,000	△ 3,684
	営業利益	3,924	1,200	△ 2,724

前年増減内訳

映像コンテンツ

- 前年度の大型作品計上の反動により減収見込みも、制作映画の成功報酬の計上等により増益の見込み

映像制作技術サービス ※詳細次頁

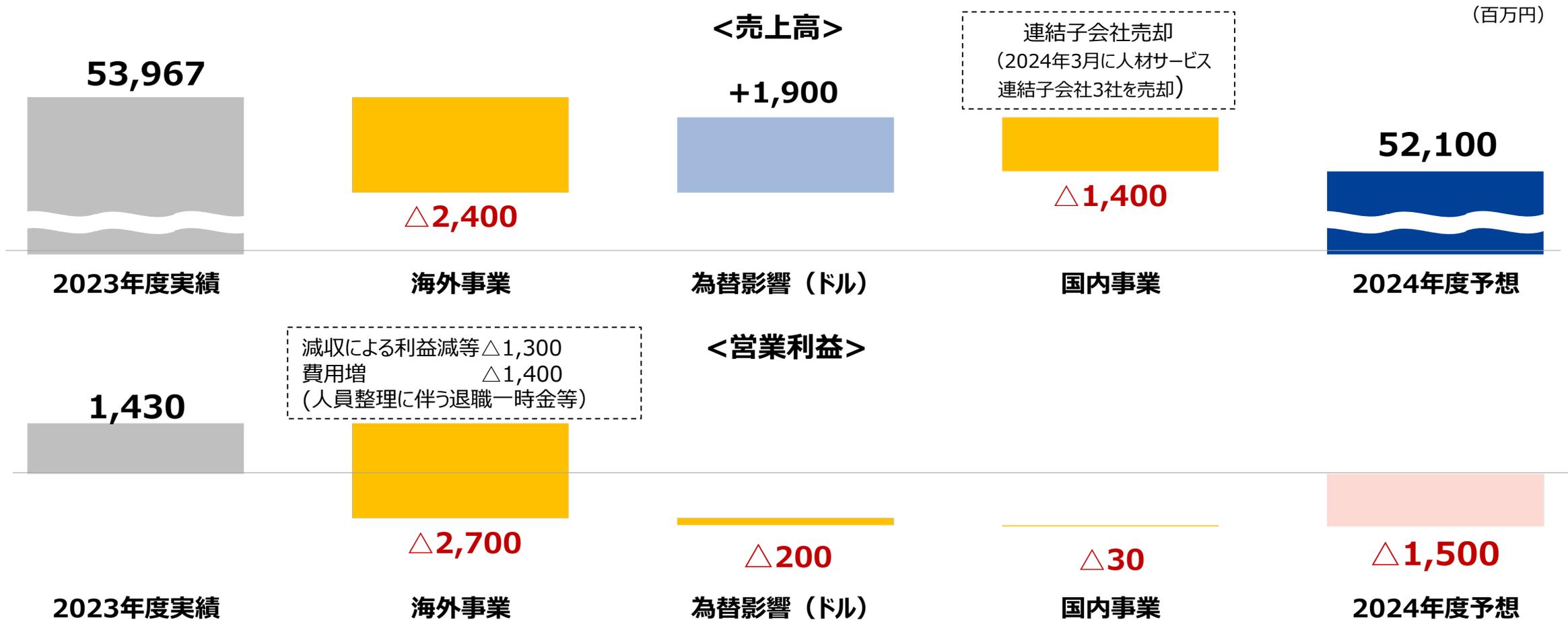
- 海外事業で需要が前年度から大きく落ち込み、為替込みで減収減益の見込み
- 海外事業は2024年6月と10月に人員整理によるコスト削減を実施済み、収益改善に注力
- 国内事業は、連結子会社売却の影響あり

映像システム

- 放送映像システムは通期では増収見込みも、円安による調達コスト増で減益の見込み
- 光学計測は需要減により、減益の見込み

映像制作技術サービス 通期前年増減内訳

- ・ 海外事業は営業赤字で、為替変動（ドル）は売上高にはポジティブ、営業利益にはネガティブ
- ・ 減収による利益減等に加えて、人員整理に伴う退職一時金等の費用増



Appendix.

連結損益計算書

(百万円)	2023年度3Q累計 実績	2024年度3Q累計 実績	前年増減額	前年増減率
売上高	71,458	66,536	△ 4,921	△ 6.9%
売上総利益	20,508	20,051	△ 456	△ 2.2%
(利益率)	28.7%	30.1%		
営業利益	2,224	488	△ 1,736	△ 78.1%
(利益率)	3.1%	0.7%		
経常利益	2,003	252	△ 1,750	△ 87.4%
(利益率)	2.8%	0.4%		
特別利益	685	100	△ 584	△ 85.3%
特別損失	76	130	54	71.2%
税金等調整前当期純利益	2,612	223	△ 2,389	△ 91.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,434	△ 242	△ 1,676	-
EBITDA	5,573	4,411	△ 1,161	△ 20.8%
(参考)営業利益 (のれん等償却前)	3,684	2,174	△ 1,510	△ 41.0%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却 + 減価償却費

※営業利益 (のれん等償却前) = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

* 2024年3月末の数値については、前連結会計年度における企業結合に係る暫定的な会計処理の確定内容を反映

(百万円)	2024年3月末*	2024年12月末	増減額	主な増減要因
資産の部				
流動資産	41,288	43,291	2,002	受取手形、売掛金及び契約資産 △3,558 棚卸資産 +4,539
うち現預金	5,242	5,808	565	
固定資産	37,405	34,986	△ 2,419	
うちのれん	11,411	10,212	△ 1,198	
資産合計	78,694	78,278	△ 416	
負債・純資産の部				
流動負債	28,950	31,613	2,663	契約負債 +2,784 未払金 △466 賞与引当金 △698
うち短期借入金	5,143	7,229	2,086	
固定負債	9,837	7,957	△ 1,880	
うち長期借入金	3,120	2,066	△ 1,054	
負債合計	38,788	39,570	782	
株主資本	33,731	32,542	△ 1,188	
その他包括利益累計額	4,097	4,439	342	
非支配株主持分	2,077	1,724	△ 353	
純資産合計	39,906	38,707	△ 1,199	
負債純資産合計	78,694	78,278	△ 416	
ネット資金	△ 3,021	△ 3,487	△ 465	(現預金－長短期借入金)

事業セグメント別 連結子会社一覧（2024年12月末現在）

*：海外子会社

映像コンテンツ事業

連結子会社：9社

株式会社ロボット

株式会社ピクス

株式会社オー・エル・エム

株式会社オー・エル・エム・デジタル

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ

株式会社イマジカインフォス

株式会社IMAGICA EEX

映像制作技術サービス事業

連結子会社：20社

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

株式会社シネマコネク

Pixelologic Holdings LLC*

PPC Creative Limited*

株式会社IMAGICA Lab.

株式会社IMAGICAコスモスペース

株式会社ウェザーマップ

株式会社IMAGICA GEEQ

映像システム事業

連結子会社：8社

株式会社フォトロン

フォトロン メディカル イメージング株式会社

PHOTRON USA, INC. *

PHOTRON EUROPE LIMITED*

アイチップス・テクノロジー株式会社

株式会社 IP モーション

株式会社フォトニックラティス

会社概要

経営理念

私たちは、誠実な精神をもって新たな価値創造につとめ、
世界の人々に「驚きと感動」を与える
映像コミュニケーショングループを目指します。



会社名	株式会社IMAGICA GROUP
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 俊二郎
設立	1974年6月10日（創立：1935年2月18日）
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
連結子会社	37社（2024年4月1日現在）
資本金	33億6百万円
事業内容	映像コンテンツ事業、映像制作技術サービス事業、映像システム事業等を営むグループ会社の事業の統括
従業員数	4,202名（1,277名）（2024年3月31日現在） ※従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております
連結売上高	996億84百万円（2024年3月期）

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP

経営戦略部

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。